

2012年度第7回執行理事会議事録

期 日：2013年1月12日（土）13:00～17:00

場 所：地質学会事務局

出席者：ウォリス副会長 渡部副会長 齋藤常務理事 伊藤 井龍 坂口 内藤 保柳 星松田 山路 山本（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：石渡会長 高木 中澤 西 平田 山口

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者12名，委任状6名，合計18名の出席。

*前回議事録の確認

I 審議事項

1. 各賞選考委員会各賞選考検討委員への執行理事会推薦

各分野のバランスを考慮して，執行理事会として齋藤文紀会員を推薦することとした。

指定委員前・現会長：宮下純夫 石渡明

過去3年間の学会賞受賞者：岩森光 木村学
地質学雑誌 前・現編集委員長：小嶋智 山路敦

IAR前・現編集委員長：井龍康文 前川寛 伊藤慎 海野進

執行理事会推薦 齋藤文紀

2. 自然史連合による一般向け自然史書籍出版に関する編集委員1名の推薦要請があり、矢島理事を推薦することとした

3. 一般財団法人自然公園財団の専門誌「国立公園」（隔月刊）に、地質学会の国立公園リーフレットシリーズ（たんけんマップ）の紹介記事の寄稿依頼があり、山口理事が執筆者選考を担当する。

2ページ、2000～2400文字 原稿〆切 3月11日発行 2013年5月予定

4. 仙台大会関係

・関連学協会に巡検協賛を依頼する件で，巡検参加費等は会員向けと協賛学協会向けの価格をそれぞれ設定することとした。

・2013年10月19日～21日に仙台にて開催されるG-EVER国際シンポジウムを共催することが了承された。会員にG-EVER活動を紹介しシンポジウムへの参加を促す。

5. 支部独自の表彰について運営規則への追加支部活動の活性化を目的に，支部独自の表彰を行

えるように運営規則「第4章支部」に下記を追加することとし，次回の理事会に提案する。

<追加案>

（支部の運営）第11条 支部には支部長をおき、別途定める支部規則により運営される。

2項、3項 略

4 支部は、支部の表彰規則を定め、当該支部区の会員・非会員の個人および団体を表彰することができる。表彰に際しては、学会本部の表彰と重複しないよう考慮する。

6. 豊中市内、上町断層（仏念寺断層）の撓曲露頭の調査・保全に関する要望書について

上町断層（仏念寺断層）の撓曲露頭の保全及び調査について近畿支部廣野会員より要望が出された。学会としても対応可能な範囲で，支部による保全活動をサポートすることとした。

II 報告事項

（1）運営財政部会：総務委員会（西・山本）

<共催・後援依頼，他団体の募集等>

1. 日本学術会議主催、学術フォーラム「自然災害国際ネットワークの構築にむけて：固体地球科学と市民との対話（2013/2/1）の後援依頼があり、これを承諾。

2. 「変成岩などシンポジウム」（世話人：竹下徹 2013/03 札幌）に対し岩石部会，が後援を承諾。

3. 2012年度 古海洋学シンポジウム（世話人：西弘嗣・高嶋礼詩）（2013/1/7、東大気海洋研究所）に対し、環境変動史部会（黒田部会長）が後援を承諾。

4. 光記念館企画展「飛騨地方の火山」展（2013/2/27-12/10）の後援依頼があり、承諾した。

5. 第50回アイソトープ・放射線研究発表会（共催）論文募集案内→News，HP等に掲載

6. 第13回「子供のためのジオカーニバル」実施報告。11月3-4日の2日間で来場者数は約2,400名であった。

7. 三菱財団、平成25年度自然科学助成金募集（2013/1/7-2/4）→News、HP、geo-flashに掲載

<その他>

1. 東大大気海洋研究所設立50周年記念式典および祝賀会招待状→渡部副会長出席
2. 山田科学財団理事長金森順次郎氏の逝去(11/13)のお知らせ
3. 北海道開拓記念館職員1名募集→News、HP、geo-flashに掲載
4. 秋田大学国際資源学部(仮称)教授又は准教授3名募集→News、HP、geo-flashに掲載

<会員>

1. 今月の入会者なし
2. 今月の退会者(5名)
正会員(5名): 畠山晃寿, 伍々 明, 吉田圭志, 三谷明日華, 草宮尚隆
3. 今月の逝去者(3名)
名誉会員(2名): 森本良平(逝去日2012年11月19日)
増田孝一郎(// 2013年1月8日)
正会員(1名): 河野通弘(// 2012年9月11日)
4. 2012年12月末日会員数
賛助: 27 名誉: 70 正会員: 3986 (院割会員: 186 学部割: 11) 合計 4083 (昨年比 -64)

<会計>

- ・地質調査の研修会の機材として、クリノメーター2個、ハンマー3本を購入し(32,140円)、講師の徳橋会員に預けた。
- ・10月に堆積学会との共催で開催した津波堆積物の余剰金(約3万円)の扱いについて、世話人から提案があり、仙台大会の津波関係の催しに役立てることを了承した。

(2) 広報部会: 広報委員会(内藤・松田)

- ・2013年度ジオルジュ前期号の編集委員会を1月8日に開催した。
- ・「地質学者に聞いてみよう」3件の質問に対し回答を作成し、読者からの質問と回答というコーナーを新設してHPにも掲載予定。

(3) 学術研究部会: 行事委員会(星)

- ・仙台大会について
シンポジウム2件 市民公開と国際 そのほか1件検討中
1月号にてトピックセッションの募集、招待講演のルール変更なども含めて広報する。
- ・津波堆積物ワークショップ(堆積学会との共催)を仙台大会時又はその前後に開催を検討中。

(4) 学術研究部会: 国際交流委員会(井龍)

- ・タイ地質学会との学術交流協定の更新を手続き

中。

- ・学術の大型研究予備調査に提出され、母体学会を地質学会とした課題のうち、学会に報告のなかった2件について、注意を喚起した。

(5) 編集出版部会: 地質学雑誌編集委員会(山路)

- 1) 編集状況報告(1月10日現在).
・2012年度投稿論文 総数99編[総説6(和文6), 論説61(和文57・英文4), 報告8(和文7・英文1), ノート6(和文6), 口絵8(和文5 英文3), 巡検案内書10]
・2013年度投稿論文 総数1編[報告1(和文1)]
査読中25編 受理済み27編
(うち通常号5 特集号22)
- 2) 掲載状況
・118巻12月号: 通常号(論説4・ノート1・口絵1: 計56頁 発行済み)
・119巻1月号: 通常号(論説3・ノート1・報告2・口絵1: 計57頁 校正中)
- 3) 特集号

下記2編の特集号受理論文が揃った。出来るだけ早い時期の掲載を調整中。

- ・構造地質学と応用地質学の接点(2010. 4. 19受付) 代表世話人: 竹下 徹
- ・中国地方の下・中部新生界の研究(2012. 2. 17受付) 代表世話人: 沢田順弘

(6) 編集出版部会: Island Arc編集委員会(伊藤)

- ・編集状況報告
特集号論文の投稿がそろったため原稿数が少なめである。特集号を3件検討中。
- ・新名称募集
応募数が多くないためgeo-Flashにて呼びかける。

(7) 社会貢献部会(高木・平田・中澤・保柳)

- ・一般からの質問(斎藤常務理事)
地質環境の長期安定性に関連した質問が2件寄せられ、個別に対応した。
- ・地学教育委員会委員の追加: 米澤正弘, 渡辺正人
- ・地質の日イベント(中澤)
一般向け徒歩見学会を5月12日(日)に東京都北区にて「石神井川の河川争奪と地質」をテーマに応用地質学会との共催で開催を検討中。この件に関して応用地質学会と打ち合わせ(12/10)を行った。また見学会コースの下見

(12/24) も実施した。

実施候補日 5月12日(日)、見学サイト 王子 石神井川周辺

- ・2013年度春期地質の調査研修(中澤)

5月頃開催予定で現在日程調整中

(8) ジオパーク支援委員会(高木)

- ・次回日本ジオパーク委員会が1月28日に開催され、5地域(洞爺湖・有珠山*, 糸魚川*, 島原半島*, アポイ岳, 南アルプス(中央構造線エリア))の、ジオパーク認定4年目の再審査結果が審議される。そのうち世界ジオパーク3地域は、GGNによる再審査が改めて年内に実施される。
- ・JR東日本の広報誌「トランヴェール」に茨城県北ジオパークといわき地域が掲載された。

(9) 地学オリンピック支援委員会(平田)

- ・1/11 委員会の開催

2013年2月2日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長(代表理事) 石渡 明
署名人 執行理事 斎藤 眞